

慈眼

第3号

発行所
小城市三日月町三ヶ島
妙勝寺内
TEL 0952-73-2981
FAX 0952-73-2981

日蓮宗佐賀
教化センター

発行責任者
林 孝 隆
印刷所 中野印刷所

戦没者五十回忌

平和を誓う



戦没者五十回忌大法要

澄みきつた晩秋の空がまぶしい、平成六年十一月二十七日、宗務所・護法護持会主催により武雄市文化会館に約千五百人の僧侶、檀信徒が集い、「護法大会・お題目総弘通運動佐賀県武雄大会」が開催されました。

午前十時から第一部、護法の祈りとして、佐賀県内の寺院婦人会（手島多美江会長）による法華和讃奉納に始まり、続いて修法師による力強い御宝前修法が

厳修され道場を清めました。

午前十時二十分第二部、「太平洋戦死病没戦災殉難者第五十回忌法要」が、林孝隆宗務所長を大導師に、声明師会の式衆並びに青年会雅楽部出座のもと、厳粛に営まれ、つづいて午前十一時半から第三部、静岡県富士市法蔵寺の平野讓山師が「闇から光明へ」と題して講演があり、参加者は日蓮宗の願いである立正安国を目指さなければならぬことを確認しました。

昼食を挟んで午後一時半から第四部清興が行われ、県内の寺院婦人によるコーラス、舞踊、大正琴を披露しました。寺院婦人たちは、今大会に備え半年前より猛練習を積み重ねてきており、その成果を十分に発揮しました。

午後三時、宗務所長を始め県内寺院婦人、武雄・杵藤地区檀信徒がステージに上り、青年会行脚隊と共に会場も割れんばかりの唱題行、お題目の声が響きわたりました。

今後尚一層のお題目信仰に精進する事を誓いあう檀信徒の姿を見て、心歓喜する思いでありました。

阪神大震災復興資金勸募

既にご承知の様に阪神地区に大地震が起き多くの被害が発生しました。我が日蓮宗に於ても住職、檀信徒の尊い生命を失い、七ヶ寺が全壊し多くの堂宇、家屋が被害を受けました。宗門ではいち早く対策本部を設置し復興義援に当ることとなりました。私達、佐賀県檀信徒は一日も早い復興を願ひ協力を致したいと存じます。皆様の暖かいご支援をお願い申し上げます。次第です。

義援金につきましては各菩提寺（あなたのお寺）を通じ、佐賀県宗務所内救援対策本部にご送金頂ければ幸に存じます。「皆様の心で少しでも同信の方々の復興のお手伝いを致しましょう。」

終戦五十年沖繩法要

慰霊卒塔婆募集

本年四月十二日沖繩コンベンションホールに於て「終戦五十年沖繩宗門法要」が営まれます。当県でも百五十名余りの檀信徒が参加される事になりました。沖繩では多くの軍人、民間人が亡くなり未だに見えられていない御遺骨もあります。この法要に際し参加される方もされない方も慰霊の気持を表わす為、既に各寺に配布致しております慰霊の卒塔婆を御供養頂きたく御案内申し上げます。申込は、菩提寺へお申し込み下さい。

卒塔婆御供養料 一本千円

※法名あるいは俗名をお書き下さい。単に御供養の場合は施主名だけでも結構です。切 三月末日

あまのつゝる

(かいつぶり)

「備えあれば憂い無し」という諺があります。此の度の阪神大震災では備えも余り役に立たなかった様な気がします。大自然のエネルギーは、人間の浅はかな知恵など到底及ぶものではないと。技術の粋を尽して建てた近代的なビルがもろくも崩壊してしまいました。

お釈迦様のお悟りの一部は大自然、大宇宙との関わりといわれています。

法華経を信じお題目を唱えて、色（身）に心に日蓮大聖人の教えを実践し慈悲の心を持って生活をする事が本当の備えというものでしょう。



【特集】

《お彼岸》

「悲願」という言葉がございませぬ。これは悲壯な願ひ、是非とも達成しよう
と心に思っている願望という意味です。従つて「彼岸」とは少し違ふものでは
が、仏教徒である私達はこの、悲願の思ひで「彼岸」（仏様の世界）へ渡れる
様に努力していかなばなりません。

《六種の行》

「六波羅密」といふ仏教の言葉がありま
す。これは「彼岸」に到達するための六
種の行（おこない）のことです。すなわ
ち、布施、持戒、忍辱、精進、禪定、智慧
の六種で、仏道を修行し悟りを得るため
に実践すべき事として示されております。
これからその六種を簡単に説明してまい
ります。

《布施》

人の為に尽くす、何かをしてあげるこ
と。

この布施で大切な事は、決して相手に
見返りを求めないという事です。そうで
ないと不浄施といつて、本来の布施では
なくなつてしまいます。

先日の阪神大震災でのボランティア活
動をテレビで御覧になられた方も多いと
思いますが、あの姿こそが布施の浄行な
のです。

《持戒》

私達が集団生活を営んでいく上での
ルールや戒律を守ること。

仏教で説かれてゐる有名なものには次
の五つがあります。

- 一、不殺生戒（生き物を殺さない）
- 二、不偷盜戒（盗みをしない）
- 三、不邪淫戒（みだらな事をしない）
- 四、不妄語戒（嘘をつかない）
- 五、不飲酒戒（酒を飲まない）

これらの事は他から命令されて従うも
のではなく、自発的な戒として定められ
ています。

《忍辱》

迫害や侮辱に対し、耐え忍ぶこと。
決して人を怒つたり、恨んだりしない
で、どんなに辛い事でも我慢するのが本
当の勇氣です。

「忍ぶこと、まさに橋の如くなるべし。
橋は人に踏まれて人を渡せり」

という言葉がございませぬ。時として怒り
は爆発させるよりもこらえた後の方がす
っきりするものです。お釈迦様は決して
怒らなかつたという事を学びましよう。

《精進》

努力する事、励む事、努める事、持ち

続ける事、即ち怠惰を克服する事です。

「継続は力なり」

「精進せば凍る暇無し水車」

などと、精進を勧める言葉も数多くござ
います。皆様がそれぞれのお仕事に励む
事は勿論ですが、根本には「信仰」に努
めることを覚えておいて下さい。

《禪定》

気持ちを落ちつかせ、何事にも心を乱
されない状態の事です。

如来寿量品第十六（お自我偈）の中に
「質直意柔軟」とございませぬ。質直とは素
直な心、柔軟とは柔和で従順な心の事
です。この気持ちを持つて日々の生活を送
り、時には自分自身を反省致しましよう。

《智慧》

学問や知識の事だけではなく、真実の
智慧を得る事、つまり仏道に目覚める事
です。

自分が仏様の世界に生かされてゐると
いう事、又、自分の中の仏となる種（仏
性）の存在に氣付いて物事を正しく見、正
しく考えられる人間になりたいものです。



創業100年

辻の堂の仏だんや

(株) 本庄仏具総本店

佐賀市堀川町 (辻の堂)

☎ 0952 - 23 - 2955 (代)

美と健康とサービスを皆様へお届け致します。

EBM Elegant Beauty Management スキンケアスタジオ



Elegant Beauty Management

株式会社イービーエム

代表取締役 松島 榮子

〒810 福岡市博多区博多駅東1-12-5

TEL (092) 482 - 6601

寺院紹介 (三)

《高城山 法蓮寺》

法蓮寺は唐津市街地に位置し、鍋かむり日親上人の木像が安置されている事で有名なお寺です。

【歴史】

日親上人が九州の総導師職として松尾山光勝寺に住職されていた時、松浦郡石志村(現、唐津市山本)に住した真言の修験僧八幡坊法印を訪ね、法論を戦わせた結果、八幡坊は屈して弟子となり名を善林院日悟と改め、寺名を法蓮寺と名付けられました。

八幡坊は肥前波多家六代目鬼子岳城主波多下野守積世の子で、真言の修験僧として有名な方でした。日悟上人には法弟子が無く百数十年間の記録は不明である。二世教行院日義上人の時大檀那波多家十代三河守親は豊臣秀吉の憤りにふれ、家は断絶されて同時に寺も没収されました。以後、五世了法院日正上人まで現在地近くに茅庵を結び細々と存続しておりました第三代唐津城主松平和泉守・北堂婦人が日正上人に帰依され現在の土地と諸堂を寄進されました。本堂内陣の宝塔二仏諸菩薩像はその当時の像です。



日親上人木像

【日親上人像】

日親上人が七十八才の時作られた像で、弟子の博多法性寺初祖日祇上人に命じて作られました。御像胎内には、「文明十六甲辰年、應嚴命奉作、御尊像、日祇」

と日親上人自らの命により作られた事が記されてあります。



長生の懇請に依り東郷元師の特に揮毫せられたる高城山山額を今般當山に奉納致す也

大正十五年七月

子爵小笠原長生

【本堂と山額】

現在の本堂は昭和六年に二十四世日解上人の時建立された間口九間奥行十間の

大きなお堂で、正面には東郷平八郎元師の筆になる「高城山」の山額が掲げられています。また仏舍利殿、位牌堂等の諸堂が整備されています。

【清正公像】

日蓮宗の大信者として知られた加藤清正公の像で、清正公熊本城主の時、慶長七年六月一日、四十二才の厄晴を迎えるにあたり自像三体を作り、自ら点眼して南関の城代加藤清兵衛正俊に与えた像で明治十五年より除厄清正公として当山に安置されています。



法蓮寺全景

藤山英周住職



拜む心で尊い品を ◆お仏壇、お仏具のご用命は

梅谷佛具店

仏壇・仏具・寺院用品・寺院納骨堂設計施工
〒812 福岡市博多区奈良屋町3-21 TEL092-271-0456 (代表)

創業明治10年



仏壇・仏具
製造販売

(株)村山佛光堂

本店/佐賀市水ヶ江2-7-39
展示場/本店ヨリ北へ2軒目
工場・倉庫/佐賀市水ヶ江1-4-23

☎0952-23-7595